

# 第24回 MASセミナー 港

「都心に住まう・集まって住まう〇と×」

日時:2017/4/8(土)  
講演:14:00~16:00



「マンション」

港区目黒通りはいつの間にかマンション、の林立する大通りとなった。旧来の木造の店舗に取って代わったわけだが、かつての親密な近隣住民の意識は失われた。集合の規模がさらに大きくなってきた現在、集合する事による日常の意味こそ見出さなくてはならないという思いに駆られる。住民の構成を老若男女、多世代という風に混成する事により本来の社会性の萌芽の可能性が出て来るのではないか。



今井 均

「自分の位置が決められない日本人ならではの問題」  
我々は他人とつき合う場合、どこまで踏み込んでよいのか判らないのが実情。言い過ぎたり、気を利かしたつもりの行動が、ある人達や組織にはお節介と取れる。逆に遠慮したり、籠りすぎて非協力だと思われたり無視される。「ここまでがパブリック (PU)。ここからはプライバシー (PR)」という公的な認識がないのが日本の社会。これがマンションで都心となれば難題に。入居数、条件、階数、周辺事情が加わり一棟別にしか判断できない。うまく行かなければ周辺景観、街づくりどころではない。周辺住民も同様の問題を抱えているのだから。管理運営と対応が上手く (PU/PR の線引を認識)、共用部活用が進む (人格/設計効果) 等の「大人」で格差が拡大！ 都心に住むのは人間形成の試練場だ。



大倉 富美雄

「集まってすむことのただひとつのリスク」  
港区の住宅地の 28 世帯のマンション暮らしです。住み始めて 35 年になりますが最近あること気づいて不安になってきました。それは、同じマンションに暮らして 35 年間一度も顔を合わせたことのない方が複数いる、ということです。それで何が不安なのかというと、もしかしてそういう人は「誰とも顔を合わせたくない、相当変わった (危険な!?) 人」かもしれない、ということです。突然何か普通じゃないことを言われたらどうしようと思うとますます不安になりますし、マンションですから何か問題が起きたら話し合いをしなければならぬのも心配です。こういう「変なひとリスク」っていうんです、と聞いたのですが、他の方はどうしているのでしょうか？



黒木 正郎

限られた土地 (容積) を全て専有して抱え込むことではなく、多くの人達が少しずつでも供用スペースとして提供し合うことができれば、そこに、一戸一戸では得ることが出来ない、新たな価値を持ったスペースを生み出すことができる。またそこには、その自分達の共有スペースを大切に護ろうとするコミュニティーが生まれる。それが都市空間とシームレスに連続して行くことができたなら、都市の姿は大きく変わって行くことが出来るだろうに・・・



武田有左

「人間らしい住環境とは？」

東京という都市の魅力は、人が集まってくることによって世界の最先端のアートやサービス、ビジネス、食の魅力的な体験が集積していることだろう。超高層住宅が常套手段となった「市街地再開発事業」は、巨万の富を生み出すビジネスモデルとして社会に容認されている。空き家 800 万戸と言われる時代に、とどめを刺すように生産され続ける超高層住宅は 30 年後どのような姿になっているのだろうか？

人が幸せに健康に暮らすための環境に必要なものについて真面目に考えてもよいだろうか。人が人間らしく生きる環境とはなにか、必要なものを、集合住宅のあり方を通して考えてみたい。



田口 知子



かつて日本は、連なる町家が街を作り、文化を醸造し、江戸や京都の味わいを創り出し、それを魅了する人々を引きつけた。

現代の都市はカオスであり、多様な人種を飲み込み喘いでいる。

一方、木密住宅の向こうに浮かぶ摩天楼には富裕層。

コモンはどこに行ったのか！



宮田多津夫

「都市に棲息する」

都市に住まう・・・住処？棲家？  
都市は働く場所、都市は遊ぶ場所  
ハレとケ？・・・日常なのに日常ではない  
都市の住まいはゆりかご、コックピット  
刺激の日々からの瞬間再生の場所  
都市に集まって住む付加価値とは？  
ある年代、時代を共有できる階層の中で成立する商品たるコミュニティ

都市に住まう。棲む・・・潜む  
皆という言葉は虚空に漂う  
皆って誰？  
都会の孤独と多くの刺激の狭間  
人との関わりの薄さが心地よい都市生活  
都市問題は人口と環境の相関関係  
都市からの恩恵の享受は成熟した文化都市のみに与えられる。  
都市で集まって住まう・・・  
文化的な高度な仕掛けが要るのでは？



村上 晶子

「集まって住むことの楽しさを作ろう！」

お隣さんが誰なのか知らない、という集合住宅が多い、オートロック等、防犯機能を充実したばかりに地域と家が分断されてしまった。今、集まって住む良さを活かす集合住宅が求められている。例えば、ラウンジやキッチン付きの集会室があれば、談話ができる、パーティーができる。地域の人を使うことが出来れば、イベントにも使える。保健相談室や子育て支援の場にしても面白い！人の繋がりを生む仕掛けが大切！  
良好なコミュニティーが、結果として防犯にも役に立つのだ！



連健夫